

# 未来の柏の図書館像を考えるワークショップ 第1回 まちから考える未来の柏の図書館像 開催報告

---

柏市教育委員会

アカデミック・リソース・ガイド株式会社 (ARG)

# 開催概要

---

(日 時) 2018年10月20日 (土) 14:00～16:30

(場 所) 柏市まちづくり公社及び柏駅周辺

(参加者) 9名

(事務局) 生涯学習課 高村課長、橋本副参事、柳川副主幹

図書館 小池館長、利光副主幹、後藤副主幹

アカデミック・リソース・ガイド株式会社 岡本、宮田

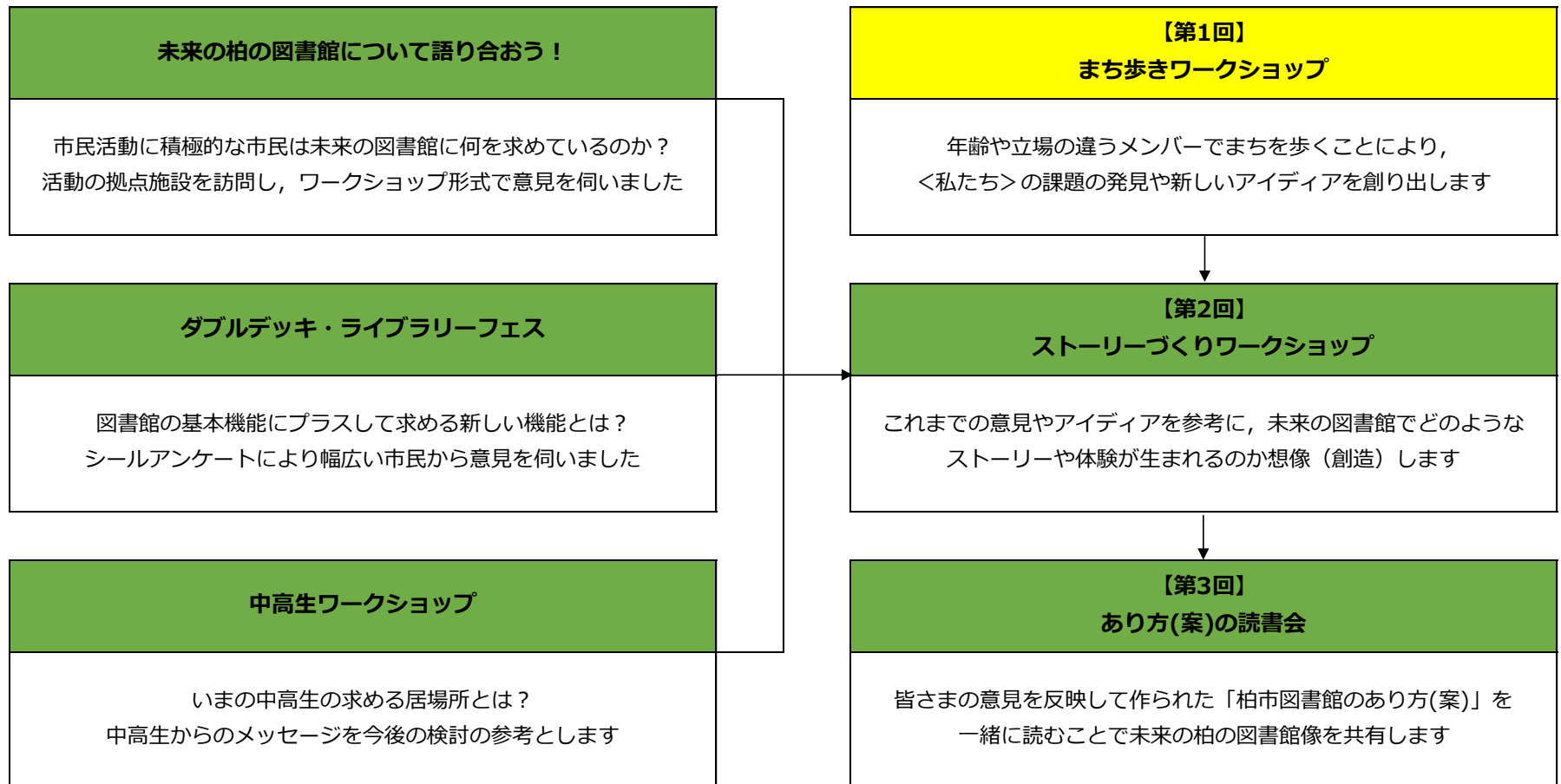
(プログラム) ①オリエンテーションと自己紹介 (10分)

②まち歩きのエリアとテーマを考えよう (10分)

③テーマに沿ったまち歩き (60分)

④気づいたことを地図で共有しよう (30分)

# 未来の柏の図書館像を考える ワークショップのつながり



# ①オリエンテーション

---

## ●まち歩きワークショップのねらい

- コラボレーション(協働・協同)によってアイデアを創り出す
- 年齢や立場の違う市民同士の交流や体験から、主体的な意見を引き出す
- 市民の暮らしに身近な部分から、未来の図書館のあり方を一緒に考える

## ●どんな変化が起きるか?

- 年齢や立場が違うメンバーと一緒に作業に取り組むことで、〈私〉だけの要望ではなく、まち全体、つまり〈私たち〉の課題を見つけられるようになる
- 参加者の固定観念(思い込み)が揺さぶられ、創造的な解決策が生まれやすくなる

## ●まちから考える

- どんな図書館もまちから独立して存在しない。まち歩きで得られた気づきを図書館につなげて考えることが、図書館をまちに開いていくことにもつながる
- その場の感覚を楽しむ。この角を曲がってみたい、あの路地に入ってみたいといった気持ちにときには身を委ねてみることで、新たな気づきや視点をもたらす

## ②まち歩きエリアとテーマを考えよう

- これまでのワークショップやフェスの意見から6つのテーマを選び、その中から「子育て」か「仕事と学び」から1つ、それ以外から1つで、2つのテーマを選ぶ
- 「子育て」と「仕事と学び」では、そのテーマに関連の深い場所を、まち歩きのチェックポイントとしてあらかじめ用意した

まち歩きエリアと、2つのテーマを考えよう



「子育て」か「仕事と学び」では下記を訪ねてください  
その他のテーマで訪問する場所はみなさんで考えてみましょう

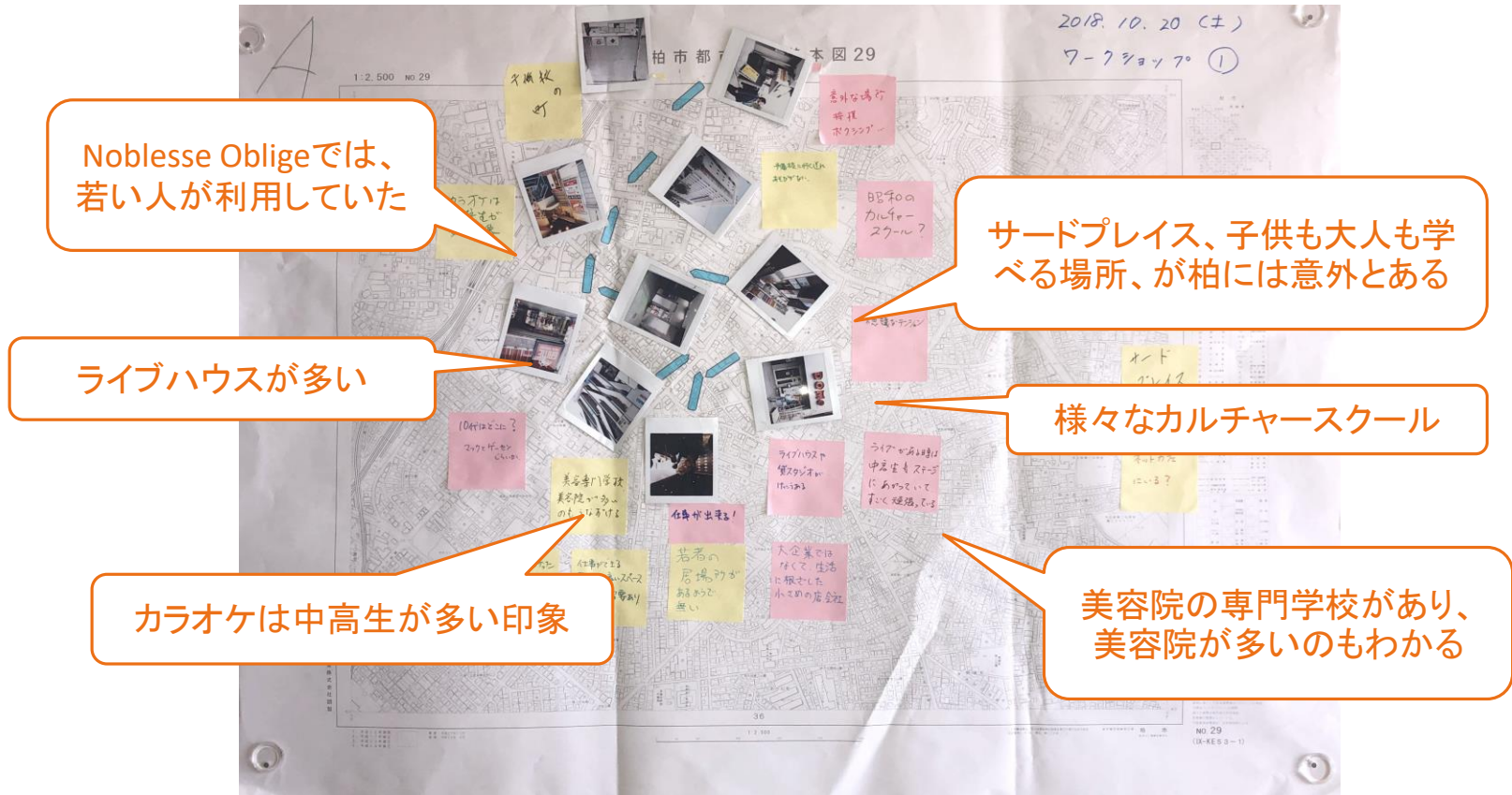


# ③テーマに沿ったまち歩き

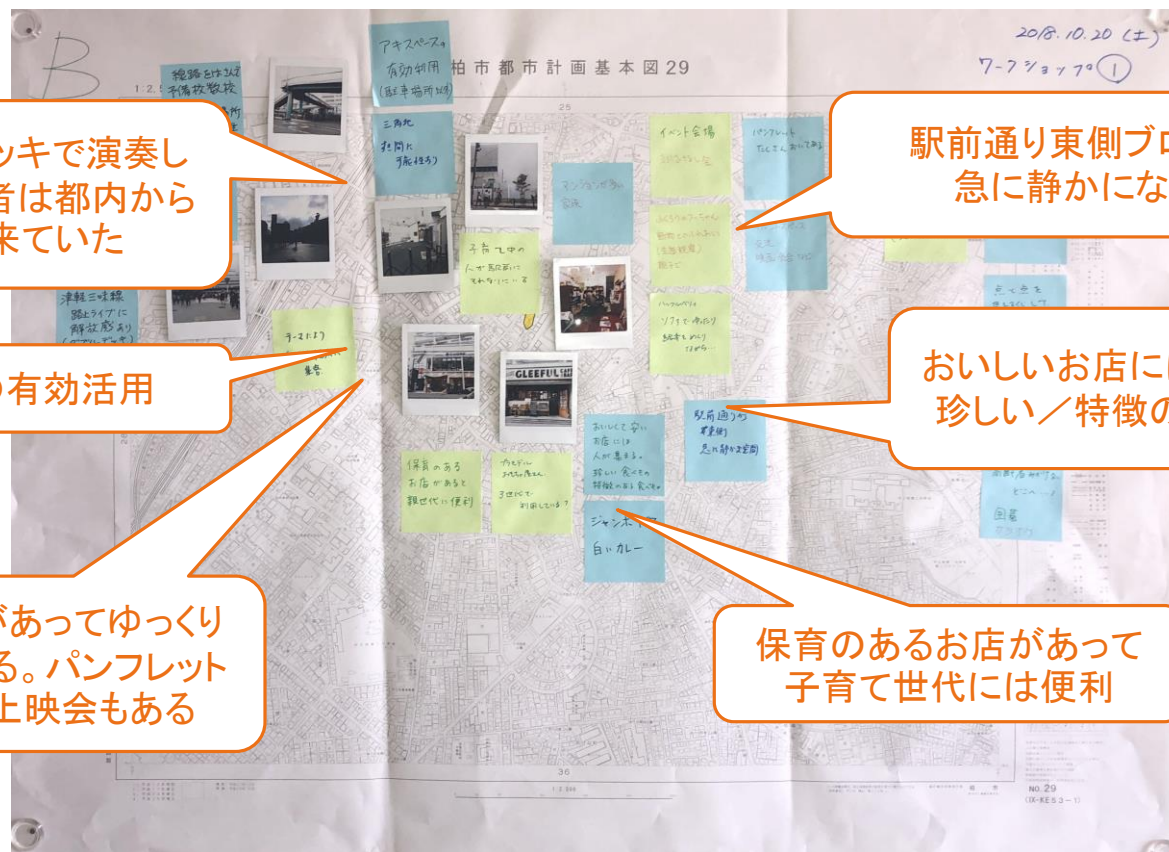
- さわやかな秋晴れのなか、インスタントデジカメとメモ帳を持ち、2班に分かれて柏駅周辺のまち歩きを行いました。まち歩きの最中も様々な意見が出て、グループの気づきにつながっていきます。



# ④気づいたことを地図で共有しよう A班



## ④気づいたことを地図で共有しよう B班



ダブルデッキで演奏している若者は都内から柏に来ていた

駅前通り東側ブロック急に静かになる

空きスペースの有効活用

おいしいお店には人が集まる  
珍しい／特徴のある食べ物

ソファがあってゆっくり本を選べる。パンフレットや映画上映会もある

保育のあるお店があって子育て世代には便利



## ④気づいたことを地図で共有しよう

---

- それぞれの班でまとめたことを互いに共有



## ④まち歩きのとまとめー 1

「まち歩き」でそれぞれが「発見」したことや「気づき」

---

- ・ここ10年でマンションが増えている
- ・子育て中の人もそれなりに見かける
- ・予備校や専門学校が多い
- ・Noblesse Obligeは、若い人が利用していた（社会人だけでなく学生もいた）
- ・ライブハウスが多い。ダブルデッキでは都内から来た若者が演奏
- ・美容学校の周りに美容室が多い。託児サービスのある美容室もある
- ・ハックルベリーブックスは座って本を選ぶことができる。2階ではサークル活動や映画上映会などの活動が行われている
- ・様々なカルチャースクールがある
- ・特徴のある食べ物屋さんがある（白いカレー、甘味屋さん）
- ・（建物が建てられないような）小さな空きスペース（三角地）が点在している

## ④まち歩きのとめー 2

### グループワークによって出てきた新たな「気づき」

---

- ・ 柏駅の周辺にはすでに、子どもも大人も学べる場所やサードプレイスと言われる場所があるのではないか
- ・ 将棋などができる場所もあり、シニア世代はそういった場所にいるのではないか
- ・ 若者は予備校に収容されているのか
- ・ 新しくできたマンションには子ども達もいるはずだが、まちなかでは見かけない
- ・ 今回発見したような、点と点を見える化してつなげる工夫が必要ではないか
- ・ 空きスペースの活用には様々な可能性があるのではないか
- ・ 多世代の交流を拒んでいるものは何か
- ・ 参加のハードルの低い「集える場」と「つながる場」が必要ではないか

# 柏駅周辺のまち歩きからから、ストーリーづくりの ヒントになる気づきや発見が得られました

---

